

地域の活力・魅力向上のための「投資」関連事業

交通まちづくり投資促進事業 1,000万円

鉄道やバス等の公共交通の利用を促すまちづくりを推進するため、市町村が行う投資（駅関連施設の整備、バス・タクシーの利用向上等）を支援

地域共創型移動サービス推進事業 2,600万円

生活圏内の身近な移動手段の確保に向け、地域の関係者の共創による持続可能な移動サービスの立上げ（実証運行）を支援

公共交通カーボンニュートラル推進支援事業 400万円

バス車両における電動車の導入を支援

交通デジタル投資促進事業 500万円

駅やバス停、地域の拠点施設における公共交通の運行情報を案内するデジタルサイネージの設置支援等

公共交通担い手ウェルビーイング向上推進事業 400万円

トイレや休憩室等の施設整備、運転手の負担軽減機器の導入等、多様な人材が働きやすい環境整備を支援

公共交通人材確保事業 200万円

公共交通の担い手確保を図るため、国と協調してバス・タクシーにおける第二種運転免許の取得を支援

地域の活力・魅力向上のための「参画」関連事業

公共交通を中心としたライフスタイル形成事業 550万円

公共交通を中心としたライフスタイルの形成に向け、公共交通の持つ多面的な効果の情報発信、沿線店舗と連携し、店舗の一部を公共交通の待合スペースとして活用する取組み等を実施

交通まちづくり参画促進事業 1,000万円

駅や公共交通を中心としたまちづくりを推進するため、地域における公共交通の活性化に向けた住民等の参画を促進

「電車・バスで行こう！」推進事業 500万円

公共交通を中心としたライフスタイルの推進に向け、市町村や交通事業者等と連携した利用促進キャンペーンを実施

富山県MaaS利用拡大事業 1,000万円

公共交通の検索やチケット購入が可能なMaaSアプリの利用拡大を図るため、沿線地域の関係者と連携したデジタルチケット等の開発を支援

とやまロケーションシステム利活用促進事業 200万円

「とやまロケーションシステム」の運行情報の案内ページに直接アクセスできるQRコードを各バス停に取り付け、公共交通にアクセスしやすい環境づくりを推進

各路線の関連事業

城端線・氷見線再構築事業 4億1,200万円（一部R5.2補正）

再構築実施計画に基づき、城端線・氷見線のICカード対応改札機等の整備に対し支援

あいの風とやま鉄道中間車両新造事業 1億9,900万円

あいの風とやま鉄道の中間車両の新造を、県・市町村等が拠出する基金を通じ支援

富山地方鉄道安全性・快適性向上事業 1億6,820万円

富山地方鉄道（鉄軌道）の安全性・快適性の向上を促進するため、設備整備に対して、沿線市町村と連携して支援

万葉線ICカード導入支援事業 5,359万円

万葉線における交通系ICカード設備の導入に対し、沿線市と連携して支援

※このほか、鉄軌道や路線バスの維持等に係る事業も盛り込む

- R6年度当初予算案（P.1～3）を踏まえ、戦略の第6章「関係者でともに取り組む施策」について、素案時点から、次のように文言を一部見直しました。

P.63

施策5 利用者としての参画

施策5-1：地域交通を中心としたライフスタイルへの転換

【旧】 **ノーマイカー運動**など地域交通を日常的に使うきっかけをつくる利用促進の取組みに関係者間で連携して取り組みます。



【新】 **電車・バスでの移動**など地域交通を日常的に使うきっかけをつくる利用促進の取組みに関係者間で連携して取り組みます。

※このほか、第4章「地域交通の現状」に記載しているデータの一部についての時点更新等を行いました。

戦略の今後の進め方（～R6年度のスケジュールイメージ）

2月20日
（本日）

- 第7回富山県地域交通戦略会議 …地域交通戦略（最終案）の確認

R6.4～

- 計画に基づく各施策を実行（P.1～P.3の事業の他、出前講座等を通じた県民参画への理解醸成など、計画に基づく各施策について、実施できるものから順次着手）

R6

- 部会の開催（施策の実施状況などを踏まえた令和7年度事業の検討等）
※必要に応じて複数回開催

R6.秋～冬頃
（※県政世論調査等、目標値のデータ収集後）

- 部会での議論を踏まえ、富山県地域交通戦略会議の開催（施策の実施状況や計画目標の達成状況などを踏まえた令和7年度事業の検討等）
- 会議での議論を踏まえた施策・事業のブラッシュアップの検討（令和7年度予算への反映等）